

祝 創立80周年！ 記念式典の事業を通して…

副校長 細井 宏一

11月9日（金）、きくまつり、菊の子汁づくりが行われました。時折、小雨がぱらつきましたが、どの団もがんばって仕上げることができました。多くの保護者の皆様にご参観いただきました。ありがとうございます。教室では、新しい学校紹介DVDを初めて児童に見せました。保護者の皆様にも見ていただく機会となり、よかったです。（販売の予定あり）

そして、11月10日（土）は、80周年記念式典を行いました。校舎内には、80周年をお祝いするたくさんの掲示が飾られました。式典には東京学芸大学学長の出口様をはじめ、大学の方、他の附属学校の校長・副校長先生、本校の元の先生方、近隣小学校の校長先生やPTA会長の方、本校の歴代PTA会長、菊泉会や泉友会の方など、多くのご来賓の方をお招きして行いました。

式の中で、全校児童による「80周年の祝いの言葉と歌」を行いました。このような小学校での記念式典には、6年生だけが参加する学校が多いですが、本校は全校児童で参加します。これも大切な教育と考えているからです。「祝いの言葉」では、よく行われるのはいわゆる「呼びかけ」です。でも、本校では全校児童が「声と心」を揃えて言葉を言う「群読」に挑戦しました。国語の授業で、群読を行うことはありますが、クラス内ですからせいぜい30名規模です。今回のように590名の人数で群読をするということは、実はたいへん難しいことです。しかし、菊の子はよくがんばりました。拍子木をつかってリズムをとって、どの学年もすばらしい群読でした。各学年のパワーを感じました。ゆり組は英語も披露しました。「HAPPY 80th ANNIVERSARY」「TOWORD the FUTURE」全校で叫びました。臨海学校の遠泳で行うかけ声「エーンヤコーラ、ヨーイヤコーラ」「よいしょ」そして、今年のスローガンにある「無限大！」子供たちの言葉が響きます。そして最後には、子供たちの大好きな「つどいの歌」を歌いました。特に3番は、子供たちが作詞した80周年オリジナルの歌詞でした。「80周年おめでとう」すばらしかったです。来賓の方からも、多くの賛辞の言葉が寄せられました。

その後、「卒業生の話」として、52回生で狂言師として世界で活躍している大蔵基成さんにお話を伺いました。狂言の面白さ、伝統を大切にすることについて、とても楽しくお話してくださいました。子供たちは大盛り上がりでした。

式典後は、校庭に出て大泉音頭を行い、そして紙風船上げでした。前日の曇り空が嘘のような爽やかな秋空です。今年は、風船の飛んでいく方向に、太陽が輝いていて、まるで紙風船が、太陽に吸い込まれていくようでした。今回のように太陽に向かって飛んでいくのを見たのは初めてです。紙風船上げは例年3時頃行いますが、今年はいつより時間が早いので、太陽が高かったことがその理由ですが、理屈抜きに、子供たちの夢が、輝く未来に繋がっていくことを示しているようで、心に残るすばらしい光景でした。正門・西門・通用門の本校の校銘版も新しくなりました。卒業生の組織「泉友会」からの寄贈です。本当にありがとうございます。藍色の下地に銀色の文字が輝いています。保護者の皆様、今度学校にいらしたときには是非見てください。

何事も、節目をつくるのが大切であると私は考えております。80周年記念は、学校の歴史の節目であり、各記念事業は学校の歴史を振り返りつつ、お祝いを様々な工夫で表します。このような取り組みを通して、子供たちの心に「感謝の気持ち」や未来に向けての「希望の気持ち」、きくの園の一員としての「一体感・母校愛」が育まれているとたいへん嬉しく思います。ここに周年行事を行う教育的価値があると感じています。子供たちの心に、80周年のことが少しでも残っていて、支えになっていたら…と願うばかりです。皆様のお陰ですばらしい80周年の節目をつくることができました。ご参観いただいたご来賓の皆様、保護者の皆様、ご尽力いただいた全ての皆様に、心より感謝申し上げます。